

第2回 病院祭を開催しました！

来て見て知ろう 医療の場  
～令和元年、はじける笑顔 地域とともに～

9月15日、日高徳洲会病院へと生まれ変わって第二回目となる病院祭が開催されました。当日は雨が降ったり、やんだりと不安定な天気の中、多くの地域住民の方にご来院いただきました。



実行委員長である今井内科医長、井齋院長の挨拶からはじまった病院祭は、静内中学校吹奏楽部によるオープニングイベント、静内高等学校書道部による書道パフォーマンス、地元有志学生によるガールズバンド演奏など多くのイベントが行われ、地域住民の方からは歓声や大きな拍手が送られていました。

れていました。



1. 静内中学校吹奏楽部によるオープニングイベント。オープニングイベントということもあり多くの来院者の注目を集める中、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。
2. 静内高校書道部による書道パフォーマンス。ぽつぽつと雨が降る厳しい条件の中、力強い、心こもった書道を披露してくれました。
3. 地元有志によるガールズバンド『きゃんでい♡ぼっぼ・かぶりこ〜ん』による演奏。踊りも交えながらの演奏で、自然と手拍子が起こり、盛り上がっていました。



医療にふれてもらうイベントを実施

病院祭のスローガンとして掲げた【来て見て知ろう 医療の場】を実践するために、当日は様々なイベントやブースを出展しました。毎年、午後のみだった医療講演も今回は2回実施。午前の部には講師を招いて、実際に体験してもらいながら救急救命について学ぶ機会を設け、老若男女問わず多くの方に参加いただきました。



午後の部で行われた今井内科医長による医療講演『胃がんの原因ピロリ菌』では、皆さん真剣に耳を傾けて聞いておられ、スライドを撮影して覚えようとされている方も見受けられました。



当院では今後もこういった様々な行事や取り組みを通じて医療にふれあえる場を提供し、医療について考え、学んでいただく機会を作っていきます。また、地域の方々との交流を積極的に行い、顔の見える、心の通った医療を提供できるよう邁進してまいります。また、最後になりますが病院祭の開催に伴いご支援、ご協力いただいた近隣住民の皆様、関係各所の皆様本当にありがとうございました。

たくさんのご来院、  
ありがとうございました



# Inkar

- インカラ - vol.10



- TOPICS -

院長の独り言  
経営・利用状況について  
病院祭を開催します

医療法人徳洲会 日高徳洲会病院

〒056-0005 北海道日高郡新ひだか町静内こうせい町1丁目10番27号

☎ 0146-42-0701

## 院長の独り言

### 天使と悪魔 ～天使=正義!?!～

ここ何年かこの星に起こっている揉め事では、自分だけが正しいという自己主張をして、相手の意見は少しも聞かないという傾向があります。あたかも相手がこの世から消滅して欲しいと願っているかのように聞こえます。日常生活でも揉め事があったときに、一方的に100%言い分が通ることは稀で、不満は残っても譲歩し合うことが普通です。しかし、政治の世界では、もともと政治は殴り合いのようなものかもしれませんが、不寛容な空気が充満しています。米国、英国、ロシア、中国(香港)、韓国、中東、ブラジル、そして日本でも。

私が好きなアーティストにSEKAI NO OWARIという四人組がいます。私が賛同できる内容の曲をたくさん作っていますが「天使と悪魔」という曲は、不寛容な世界に対する強烈なメッセージです。

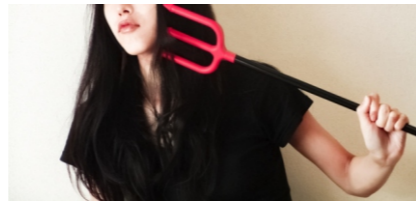


『大人VS大人の正解・不正解のバトル』『正義のヒーローは悪党を倒すものだ』子供はTVを観て思う「悪は滅ぼさなきゃね』『もし僕が正しくて君らが間違いなら僕らは戦う運命にあるの?』『正義が支配する最悪な世界では マジョリティーこそが「正しい」とみんな「間違える」!?!』『「正義」を生み出した

神様聞こえていますか あんなものを生み出したから みんな争うんだよ』『悪魔と天使の世界で こちらが正しいとかあちらが間違っていると解らないんだ』『「賛成」と「反対」の間に



「答」が生まれれば いい 正しさを主張するだけじゃ「答」じゃないんだ』私を含めてひとりひとりの人間の中には天使も悪魔も住んでいると思います。一見理想的にみえますが、天使 = 正義ばかりの世界があったとしたら、ものすごく息苦しいと思います。私は正義を振りかざす人に対しては、まず第一に胡散臭さを感じてしまいます。『「悪魔と天使」僕らがどちらのかなんてさ 解るはずもなければ 解りたくもない』



「日本音楽著作権協会(出)許諾第1910889-901」



## 日高徳洲会病院の経営・利用状況について

### 日高地域の皆様にとって安心、安全な医療機関であるために

9月30日、総務省から自治体が経営する地方公営企業の2018年度決算の概要が公表されました。公立病院事業に関しては840億円の赤字で、再編や統合などの経営改革が求められています。また、その前段階として9月26日には、厚生労働省から「再編統合について特に議論が必要」な医療機関が公表されており、北海道からは54病院、日高地域においても3病院が再編統合を促されています。総務省、厚生労働省にて発表された決算は、あくまでも公立の病院についてのみであり、発表以降、地域住民の皆様から当院についても不安な声が多く寄せられています。

つきましては、当院の経営、及び利用状況についてお知らせ致します。

#### 平成30年度の経営状況

##### 9610万円の黒字

収益 21億3380万円

費用 20億3770万円

当院は平成30年9月に静仁会静内病院から日高徳洲会病院へ変更いたしました。それ以前から経営状況に大きな変化はなく、平成30年度は約一億円の黒字となっています。企業努力によって収益を維持し、病院機能の見直しや建て替えを検討していきます。



日高徳洲会病院 ・ベッド数199床

旧棟は築29年を迎え、設備の老朽化が進んでいます

#### 平成30年度の利用状況

##### ■ 病床利用状況

当院の病床は199床ですが、看護師や医師数の不足などもあり、現状では160名程度の入院患者様しか受け入れることができない状況が続いています。平成30年度の入院患者数は53,313名で平均すると一日当たり146名の患者さまが入院されていたこととなります。

平均利用病床数  
146名



##### ■ 外来利用状況

外来患者数は48,612名で救急対応のみの土曜日の午後、日曜日、祝日を省くと一日当たり177名の患者さまが外来を利用されていることとなります。外来につきましては、利用者さまが多くなると待ち時間が長くなる傾向があり、どうすれば待ち時間の短縮が可能か検討を進めてまいります。

外来利用者数  
177名



#### 医療職確保への取り組み

病床すべてを利用できないことで、他院からの転院を希望される患者さまや、外来からの入院患者さまをお待たせしてしまうことがあり、医療職の確保は重要な課題となっています。当院では対策チームを設け、北海道内の学校に日高をPRすることはもちろん、道外の説明会に出展するなどより多くの方に日高地域の魅力を伝え、医療職の確保に努めています。また、院内職員の離職防止のためにも様々なイベントを行い、働きやすい風通しの良い病院を目指しています。



熱い看護師  
積極採用中!

復職希望者も大歓迎!  
配属先も相談に応じます。  
まずは気軽にご連絡下さい。

☎ 0146 - 42 - 0701

